

三陸に一足早いサクラ咲く！
田野畑～陸中野田間の運行再開を記念し、「サクラアート」で装飾した
「キット、ずっと号」&「キット、ずっとカンパネルラ田野畑駅」
お披露目式を実施

「キット、ずっとプロジェクト」実行委員会は、4月1日(日)、路線一部運行再開(田野畑～陸中野田間)を記念し、起点となる田野畑駅において、“サクラアート”を施した車両「キット、ずっと号」と駅舎「キット、ずっとカンパネルラ田野畑駅」のお披露目式を行いました。

「キット、ずっと号」は、三陸鉄道の車両を、美術作家 三田村 光土里(みたむら みどり)さんの原案、デザインにより装飾したもので、Facebook®を通じて世界中から集まった応援メッセージが描かれています。

また、「キット、ずっとカンパネルラ田野畑駅」は、三田村さんによるワークショップで、多くの地元の方たちから生み出された「ことば」と、Facebook®上で世界中から集められた応援メッセージを、美術作家三田村さんのデザインに基づいてアートとして表現されており、東京芸術大学大学院 油画専攻 壁画研究室の学生による制作監修の下、三陸鉄道社員のほか、久慈工業高校美術部の生徒たちや田野畑村の住民の方々と一緒に描画を行ったものです。

当日は、晴れ渡る空の中、数多くの方にご来場いただきました。また、イベントの様子は Ustream で生中継され、合計視聴回数は 20,000 回に達し、多くの方々にご覧いただきました。

今後も、温かい気持ちのこもったサクラアート(桜の柄を用いた装飾)が地元の方たちを励まし、また、新たな観光スポットとして多くのお客様の目に触れていただくことを期待しております。



「キット、ずっと号」運行期間(予定)： 2012年4月1日(日)～6月30日(土)

※運行スケジュールはお問い合わせ下さい。

「キット、ずっとカンパネルラ田野畑駅」公開期間(予定)： 2012年4月1日(日)～6月30日(土)

<イベント概要>

- 名 称：「キット、ずっと号」「キット、ずっとカンパネルラ田野畑駅」お披露目式
- 日 時： 2012年4月1日(日) 10:40～11:30
- 会 場： 三陸鉄道 田野畑駅(岩手県 下閉伊郡 田野畑村 和野 38-14)
- 主 催： 三陸鉄道株式会社、ネスレ日本株式会社
- ゲ ス ト：“三陸案内人”阿藤快さん

■登壇者(敬称略)： 田野畑村 副村長 工藤 正勝、三陸鉄道株式会社 運行本部長 金野淳一、
ネスレ日本株式会社 コンフェクショナリー事業本部 マーケティング部 部長 竹内雄二、
美術作家 三田村光土里、東京藝術大学 学生、久慈工業高校 美術部生徒 ほか

■内 容：「キット、ずっとカンパネラ田野畑駅前でのトークセッション
ネスレ日本より応援メッセージ贈呈式
「キット、ずっと号」出発式、フォトセッション

※本イベントは、三陸鉄道、ネスレ日本株式会社(本社: 神戸市、代表取締役 社長 兼 CEO:高岡 浩三、以下「ネスレ」)、他岩手県三陸鉄道沿線にある各観光協会や、運行再開の起点となる田野畑村の方々、及び久慈工業高校の生徒などにより結成された「キット、ずっとプロジェクト」委員会により開催されました。また、「キット、ずっとプロジェクト」は、三陸鉄道の存在と魅力を世界に向けて発信することで、認知拡大並びに、さらなる観光振興を中心とした沿線地域全体の活性化を図ることを目的としたプロジェクトです。

◆URL:

<http://nestle.jp/brand/kit/kitzutto.jp/>

ネスレ日本 竹内雄二氏による「キット、ずっとプロジェクト」紹介

ネスレ日本 竹内氏が、「キット、ずっとプロジェクト」発足の経緯や、東京新橋 SL 広場にて行われた3月5日のプロジェクト発足式、3月11日の「さんてつ広場復興市」など、プロジェクトの4月1日までの歩みについて話しました。

竹内氏は、阪神淡路大震災時に頂いた全国からの応援メッセージに励まされたことを受け、昨年の東日本大震災後に何らかの形で東北復興を応援したいという思いから、プロジェクトの発足を決意したことを説明。キットカットは、「キット、願いかなう。」というブランドコンセプトのもと、受験生をはじめ、夢や目標に向かって頑張る人たちに応援してきた経緯があり、学生が通学時に利用することの多い三陸鉄道の復旧に協力し、三陸鉄道と一緒に地域を応援したいということで「キット、ずっとプロジェクト」の立ち上げに至ったと話しました。

昨年5月には、東北応援製品「キットカット ずんだ風味」を発売し、商品あたり10円の寄付金を行い、総額約1200万円以上を日本赤十字社を通じて被災地に義援金として寄付しており、今年3月5日から全国で「キットカット ミニ ワールドバラエティ」を発売し、売り上げの一部を三陸鉄道に寄付することや、facebook®で三陸鉄道への応援メッセージを募集し、駅舎・列車に“サクラアート”として描いたことを話しました。

3月11日実施の「さんてつ広場復興市」物産展では、阿藤さんに三陸の名産品を販売して頂き大好評だったことや、その場で来場者に応援メッセージを書いて頂いた「つながるんだるま」はがきは約400枚もの数が集まり、駅舎内にははがきを掲出予定と語りました。

そして、「キットカット キット、ずっと号」が商品化され、3/30より予約販売を開始し売り切れになるほど大好評であること(追加発売予定)や、“サクラアート”と応援メッセージで田野畑駅を装飾し、晴れて皆様にお披露目できた喜びの心境を語りました。



ネスレ日本 竹内雄二氏より

三陸鉄道 金野淳一氏へのメッセージはがき贈呈式

3月11日に実施した「さんてつ広場復興市」の来場者などに書いて頂いた約300枚の「つながるんだるま」メッセージはがきをネスレ日本から三陸鉄道へ贈呈頂く際には、キットカットのロゴが描かれた巨大なボックスから、二人がはがきを取り出して掲げる様子でのフォトセッションが行われました。

その後、金野氏は、「全国の皆様、三陸鉄道にぜひ乗りに来てください」という心からの言葉を投げかけました。



“三陸案内人”阿藤快さん登場

ネスレ日本 竹内氏の呼びかけで、本プロジェクトで“三陸案内人”として活躍する俳優 阿藤快さんがステージに登場。「三陸鉄道は生活線でもあるが、観光客の方々に来て頂いてこそ成り立つ。三陸鉄道の素晴らしい景色を、みんな見に来て。三陸鉄道が好きすぎて、就職鉄ちゃんもいる(社員みんな三陸鉄道を愛する気持ちが大きいことについて)」と、地元の住民だけでなく全国的に愛されている三陸鉄道について語りました。

「キット、ずっと号」の入線をお出迎え

三陸鉄道 金野淳一氏よりネスレ日本 竹内雄二氏へのサプライズ列車プレート贈呈 列車の前でフォトセッション、「キット、ずっと号」出発式

桜花柄の「キット、ずっと号」が田野畑駅に入線し、拍手で出迎えられました。列車の前で三陸鉄道 金野氏より、「キット、ずっと号」と書かれた列車プレートがサプライズで贈呈され、ネスレ日本 竹内氏はじめ、関係者も感動していた様子。

阿藤さんは、満員の車内を見て「これだけたくさんの方が集まって来てうれしいですねー」と大喜び。「皆さん、三陸はいいところですよ、もっともっと三鉄に乗りに来てくださいね」とアピールしました。

＜三陸鉄道 概要＞

岩手の三陸海岸沿いを縦貫している鉄道で、通称「三鉄(さんてつ)」。
地元の足として愛され、通常の車両のほか、お座敷車両、レトロ調車両の
運転を行っていましたが、2011年3月に発生した東日本大震災の影響で、
現在一部区間のみで運行を行っています。



会社名：三陸鉄道株式会社
住所：岩手県宮古市栄町4
設立：1981年11月10日
代表：代表取締役社長 望月正彦
URL：<http://www.sanrikutetsudou.com/>

※Facebook® は Facebook Inc.の商標です。

※他にも、イベントの様子を撮影したオフィシャル(ムービー、スチール)をご用意しております。ご入用の方は、下記PR事務局までお問い合わせ下さい。

「ネスレ キットカット キット、ずっと号」好評、追加生産決定！

三陸鉄道 久慈駅 橋上駅長とネスレ日本が共同開発し、2012年3月30日(金)より発売された「ネスレ キットカット キット、ずっと号」(乗車券付き)ですが、発売と同時に大変好評を頂き、発売初日で当初予定していた限定数が完売してしまったため、急遽増販することが決定いたしました。

三陸鉄道及びネスレのオンラインショップで予約販売を行っております。

◆URL:

- ・三陸鉄道オンラインショップ：<http://sanrikutetsudou.shop-pro.jp/>
- ・ネスレ通販オンラインショップ(PC)：<https://shop.nestle.jp>
- ・ネスレ通販オンラインショップ(携帯)：<http://shop.nestle.jp/m>

